

1 政策名および施策名		2 施策の主担当課及び関係課	
基本目標	1 しごとをつくり、安心して働けるようにする	主担当課	企業誘致推進課
基本施策	1 企業誘致を推進する	関係課	まちづくり政策課

3 基本施策の方向性
自動車交通の利便性や産業用地取得コストが低いといった本市のポテンシャルを生かして企業誘致を推進します。

4 事業のKPI								上段：進捗状況（達成見込み）
指標名（単位）	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6（見込み）※	下段：次期戦略に向けた方向性
企業立地件数（社、累計） （開発許可等取得件数含む）	目標値		➡	➡	➡	➡	15	◎
	実績値	3	16	20	27	32	36	①上方修正により目標継続
I T関連企業の市内進出数 （社、累計）	目標値		➡	➡	➡	➡	1	▲
	実績値	0	0	0	0	0	0	⑥情勢変化により目標終了
	目標値							
	実績値							
	目標値							
	実績値							
	目標値							
	実績値							

【（上段）進捗状況】◎：R6年度に目標値を100%以上達成見込み ○：R6年度に目標値を75%以上達成見込み
▲：R6年度に目標値を75%未満の達成見込み ー：評価不能
【（下段）次期戦略に向けた方向性】①上方修正により目標継続、②達成により他目標を検討、③達成により目標終了、
④下方修正又は数値維持により目標を継続、⑤情勢変化により他目標を検討、⑥情勢変化により目標終了

5	これまでの取り組みと評価（令和2～5年度）	今後の取り組み予定(令和6年度)
(1)	企業に対する羽生市のPR 評価・方向性 ◎ A1 ○事業用地情報等をホームページに掲載し情報発信を行った。 ○企業訪問や市内外の企業へ向けたダイレクトメールによるアンケート調査の実施や誘致に関して市の魅力を伝えるなど、積極的な取り組みを行った。 （企業訪問 R2年度：7社、R3年度：8社、R4年度：12社、R5年度：61社） （R3年2月アンケート送付企業139社、回答企業37社、回答率26.6%） （R5年11月アンケート送付企業179社、回答企業48社、回答率26.8%）	今後の取り組み予定 ・事業用地情報の追加等によるホームページのリニューアルに加え、ダイレクトメールにより市の魅力を情報発信していく。また、市内不動産業者と連携を図り未利用地情報を充実させる。 ・県の産業立地促進補助金制度のPRに努める。 ・企業誘致の優遇制度について庁内検討を行う。
(2)	企業立地相談のワンストップサービスの充実 評価・方向性 ◎ A1 ○新規立地相談や既存施設の拡張相談に対する開発許可取得に関する手続きについて、関係各課と調整し、サービス向上を図った。 （R2年度：15社、R3年度：4社、R4年度：7社、R5年度：5社）	今後の取り組み予定 ・市内立地検討企業及び既存施設の事業拡張企業からの相談に対して、行政手続きに関する支援を行い、許可取得に向けて総合的な調整を図る。
(3)	岩瀬地区における産業用地の整備 評価・方向性 ◎ A1 ○上岩瀬地区は市街化区域に編入、用地買収が完了し、県企業局による造成工事及び市施工の道路改良が完了した。また、令和5年3月末に立地企業へ引渡し完了した。 ○区画整理事業地内（北工区）は立地希望企業が決定し、企業側と立地に向けて協議も進み、区画整理組合による整備工事も着手され、立地企業へ一部引渡し済み、建築工事が令和5年3月に始まった。	今後の取り組み予定 ・上岩瀬地区は、立地企業の建築工事着手に向け、関係各課と地元の調整を行い早期の竣工を目指す。 ・区画整理事業地内（北工区）は、立地企業の操業の支援を実施し、残用地の活用を支援する。
(4)	企業ニーズに応じた柔軟な対応 評価・方向性 ◎ A1 ○主要幹線道路沿い企業立地について、都計法第34条第12号の区域指定を行った。 区域指定か所数 令和2年度：3か所 令和3年度：4か所 令和4年度：0か所 令和5年度：3か所 指定10カ所のうち 竣工済6か所、工事中4か所	今後の取り組み予定 ・関係各課と連携し企業誘致検討ライン内における立地検討企業と協議を行い、企業立地に向けて支援する。
(5)	I T関連企業の誘致 評価・方向性 ▲ B3 ○羽生駅東口の市有地活用を過去に検討した経緯があるが、市としての方針が決まっていない状況下で、誘致に関する取り組みができなかった。 ○令和5、6年の2か年で立地適正化計画を策定するため、庁内検討が開始され個別具体的にI T企業の誘致を検討することが困難になった。	今後の取り組み予定 ・立地適正化計画策定後、今後、I T企業の誘致が必要か検討を行う。
(6)	評価・方向性	今後の取り組み予定

【評 価】令和5年度末までの取組状況に対する評価 ◎順調 ○概ね順調 ▲進捗が遅れている
【方向性】次期総合戦略に向けた取り組みの方向性 A1～A3、B1～B3（詳細は別紙）

1 政策名および施策名		2 施策の担当課及び関係課	
基本目標	1 しごとをつくり、安心して働けるようにする	担当課	農政課
基本施策	2 農業を活性化させる	関係課	

3 基本施策の方向性
次世代に向けた魅力ある産業として、安心して受け継げる農業の実現を目指します。

4 事業のKPI ※R6実績について ①（見込み）の記載あり：令和7年3月31日現在の予測値 ②記載なし：令和6年6月1日現在の実績値								上段：進捗状況（達成見込み）
指標名（単位）	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6（見込み）	下段：次期戦略に向けた方向性
法人の農業参入数（法人、累計）	目標値		➡	➡	➡	➡	10	○
	実績値	1	5	5	6	6	6	④下方修正又は数値維持により目標を継続
農地中間管理事業と連携した基盤整備事業実施面積（ha、累計）	目標値		➡	➡	➡	➡	300	○
	実績値	164	187.6	188.9	193.0	221.3	280.2	④下方修正又は数値維持により目標を継続
農地中間管理機構への貸付面積（ha、累計）	目標値		➡	➡	➡	➡	700	○
	実績値	411	470.0	485.2	523.9	564.0	606.1	④下方修正又は数値維持により目標を継続
	目標値							
	実績値							
	目標値							
	実績値							

【（上段）進捗状況】◎：R6年度に目標値を100%以上達成見込み ○：R6年度に目標値を75%以上達成見込み
▲：R6年度に目標値を75%未満の達成見込み ー：評価不能
【（下段）次期戦略に向けた方向性】①上方修正により目標継続、②達成により他目標を検討、③達成により目標終了、
④下方修正又は数値維持により目標を継続、⑤情勢変化により他目標を検討、⑥情勢変化により目標終了

5 これまでの取り組みと評価（令和2～5年度）				今後の取り組み予定（令和6年度）	
(1) 10ha規模の農業経営体の育成及び法人化への誘導	評価・方向性	○	B1	今後の取り組み予定	
○認定農業者への経営改善計画のサポート ○県、JA、関係機関と連携し、法人化・企業参入等の情報収集 ○農地中間管理事業を活用した担い手への農地集積の促進（R5：44ha）				・認定農業者への経営改善計画のサポート継続 ・県、JA、関係機関と連携し、法人化・企業参入等の情報収集継続 ・農地中間管理事業を活用した農地集積の促進	
(2) 新規就農者及び農業後継者への支援	評価・方向性	○	A1	今後の取り組み予定	
○地域農業の担い手育成のため認定農業者を確保（認定農業者200人 R6.3未現在） ○新規就農者発掘のため県農業大学校に通う生徒に授業料等を支援（R2:1名 R3:1名 R5:1名） ○新規就農者に資金を交付し、経営を支援（国補助）（R2:1名 R3:1名 R4:2名 R5:2名） ○農業後継者の設備投資等に対する支援（R2:1名 R3:1名） ○経営の拡大を目指す農業後継者に対する支援（国補助1/2）（R3:2件） ○はにゅう農業担い手育成塾の受け入れ（R2:1名）				・新規就農者支援や農業後継者支援の継続 ・チャレンジ・ファームと連携した就職就農者の確保 ・新規就農イベント等で新規就農支援をPR ・農産物の新たな販売方法の確保	
(3) 観光農園等基本構想地等への企業の農業参入支援	評価・方向性	○	A1	今後の取り組み予定	
○観光農園等基本構想計画地への企業参入に向け農地改良（畑地化）を実施（R2:3ha R3:2.2ha R5:0.27ha） ○観光農園等基本構想計画地への参入希望企業との調整及び協議 ○参入企業の生産施設拡大への支援（国補助）（R4:1件）				・観光農園等基本構想計画地への参入企業の選定継続及び企業との連携 ・観光農園等基本構想計画地への参入企業と地域活性化について連携強化 ・参入企業の生産施設拡大への支援	
(4) スマート農業の推進	評価・方向性	○	A1	今後の取り組み予定	
○北埼玉スマート農業研究会の活動を支援 ○県、JA、関係機関と連携し、導入事例等の情報収集及び情報提供 ○ICTを活用した生産体制を検討する法人の支援 ○ドローンによる水稲直播の実証実験に向け、協力農家及びほ場の確保 ○スマート農業機械等の導入を支援（R4:3件 R5:1件）				・北埼玉スマート農業研究会の活動を支援継続 ・導入事例等の情報収集及び情報提供の継続 ・スマート農業導入を支援	
(5) 6次産業化の推進	評価・方向性	○	B1	今後の取り組み予定	
○6次産業化に取り組む農業者の設備投資等に対する支援（R2:2件 R3:2件） ○6次産業化を検討する農業者への情報提供、相談受付（R2:3件）				・6次産業化に取り組む農業者支援の継続 ・農産物の新たな販売方法の確保 ・相談体制の充実	
(6) 埼玉型ほ場整備の実施	評価・方向性	○	A1	今後の取り組み予定	
○埼玉型ほ場整備実施計画策定（R2：井泉大房地区 29.6ha、村君地区 51.4ha） ○埼玉型ほ場整備事業の実施（大房地区、村君地区）の実施（R3～6） ○公社営埼玉型ほ場整備事業（藤井下組地区）の実施（R3～4） ○機構関連ほ場整備の事業化に向けた調整（弥勒北地区 27.9ha）				・埼玉型ほ場整備事業の実施（大房地区、村君地区）の実施（R3～6） ・県営調査（弥勒北地区）の継続実施（R5～6） ・公社営埼玉型ほ場整備（藤井下組（第2期））地区の事業化（R6～7）	

【評価】令和5年度末までの取組状況に対する評価 ◎順調 ○概ね順調 ▲進捗が遅れている
【方向性】次期総合戦略に向けた取り組みの方向性 A1～A3、B1～B3（詳細は別紙）

1 政策名および施策名		2 施策の担当課及び関係課	
基本目標	1 しごとをつくり、安心して働けるようにする	担当課	農政課
基本施策	2 農業を活性化させる	関係課	

3 基本施策の方向性
次世代に向けた魅力ある産業として、安心して受け継げる農業の実現を目指します。

4 事業のKPI								上段：進捗状況（達成見込み）
※R6実績値について ①（見込み）の記載あり：令和7年3月31日現在の予測値 ②記載なし：令和6年6月1日現在の実績値								下段：次期戦略に向けた方向性
指標名（単位）	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6（見込み）	
1-2 1枚目 にまとめて記載								
	実績値							

【（上段）進捗状況】◎：R6年度に目標値を100%以上達成見込み ○：R6年度に目標値を75%以上達成見込み
▲：R6年度に目標値を75%未満の達成見込み ー：評価不能
【（下段）次期戦略に向けた方向性】①上方修正により目標継続、②達成により他目標を検討、③達成により目標終了、
④下方修正又は数値維持により目標を継続、⑤情勢変化により他目標を検討、⑥情勢変化により目標終了

5	これまでの取り組みと評価（令和2～5年度）	今後の取り組み予定(令和6年度)	
(7)	畦畔撤去による区画拡大工事の実施	評価・方向性	○ A1
○公社営簡易基盤整備事業による区画拡大工事の実施（R2 発戸漆畑地区：6.2ha、新郷（第2期）地区：17.4ha、R3 発戸猿淵地区：1.3ha） ○次年度以降に実施する地区の掘り起こし		今後の取り組み予定 ・新規要望地区の掘り起こし	
(8)	耕作放棄地の解消に対する支援	評価・方向性	○ A1
○農業委員会の農地利用状況調査により遊休農地を確認し、農地の利用集積と遊休農地の発生防止、解消対策を実施 耕作放棄地解消面積1.3ha（R6.3末現在） ○農業者による耕作放棄地の解消及び営農再開支援（補助交付 R2：2件 4,815㎡ R3：5件 13,270㎡ R4：3件 3,246㎡ R5:1件 4,909㎡）		今後の取り組み予定 ・農業委員会の農地利用状況調査を実施し、遊休農地を把握する。 ・関係機関と連携し、遊休農地の発生防止、解消対策を実施する。	
(9)	地域の意見集約、相談の受付、アドバイス	評価・方向性	○ A1
○各地区の農業委員及び農地利用最適化推進委員の活動を推進（農業委員等が調整し、集積した農地 R5：1.6ha） ○農地相談会の実施		今後の取り組み予定 ・各地区の農業委員及び農地利用最適化推進委員の活動を推進 ・農地相談会の実施継続	
(10)	県・JA等関係機関との連携強化	評価・方向性	○ A1
○農地中間管理機構等による基盤整備に合わせた農地の集積（R2：新郷 18.7ha 発戸 6.8ha） ○農地中間管理事業推進会議の開催 ○県主催の研修会等に参加		今後の取り組み予定 ・農地中間管理事業推進会議の開催 ・農地中間管理事業の推進に係る地域会議（県、市、農林公社、JA、農業委員会）への参画継続	
(11)	実質化に向けた「人・農地プラン」の作成	評価・方向性	○ A1
○アンケート、意見募集等を実施 ○アンケート結果や農業者の意見を反映させ、地域の課題や方向性を協議 ○各地区における担い手の発掘及び確保 ○市内20地区の実質化した人・農地プランを作成及び見直し ○地域計画策定に向けたアンケートの実施 ・モデル地区（尾崎地区）で地域計画策定		今後の取り組み予定 ・地区ごとの地域計画の説明会及び話し合い等を実施し、地域計画を策定 ・策定した地域計画の見直し	
(12)		評価・方向性	
		今後の取り組み予定	

【評 価】 令和5年度末までの取組状況に対する評価 ◎順調 ○概ね順調 ▲進捗が遅れている
【方向性】 次期総合戦略に向けた取り組みの方向性 A1～A3、B1～B3（詳細は別紙）

1 政策名および施策名	
基本目標	1 しごとをつくり、安心して働けるようにする
基本施策	3 働きやすい環境づくりを支援する

2 施策の担当課及び関係課	
担当課	商工課
関係課	

3 基本施策の方向性
市内で働きたい方の雇用を守り、多様な就業環境づくりを創出します。また、創業支援、空き店舗の活用により、市内で起業する方の支援を行います。

4 事業のKPI ※R6実績値について ①（見込み）の記載あり：令和7年3月31日現在の予測値 ②記載なし：令和6年6月1日現在の実績値								上段：進捗状況（達成見込み）
指標名（単位）	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6（見込み）	下段：次期戦略に向けた方向性
創業支援事業計画を活用した創業者数（人/年）	目標値		➡	➡	➡	➡	5	◎
	実績値	3	4	3	5	3	5	④下方修正又は数値維持により目標を継続
羽生市ふるさとハローワーク就職率（％、就職者数/新規求職者）	目標値		➡	➡	➡	➡	45	◎
	実績値	37	29	38	54	53	44	①上方修正により目標継続
多様な働き方実践企業認定件数（件、累計）	目標値		➡	➡	➡	➡	50	▲
	実績値	34	36	36	31	25	30	④下方修正又は数値維持により目標を継続
	目標値							
	実績値							
	目標値							
	実績値							

【（上段）進捗状況】◎：R6年度に目標値を100%以上達成見込み ○：R6年度に目標値を75%以上達成見込み
▲：R6年度に目標値を75%未満の達成見込み —：評価不能
【（下段）次期戦略に向けた方向性】①上方修正により目標継続、②達成により他目標を検討、③達成により目標終了、
④下方修正又は数値維持により目標を継続、⑤情勢変化により他目標を検討、⑥情勢変化により目標終了

5	これまでの取り組みと評価（令和2～5年度）	今後の取り組み予定(令和6年度)
(1)	各種就労支援事業 評価・方向性 ○ B1 ○国、県、ハローワークなど関係団体と連携した各種就労支援事業を実施 ・就職支援セミナー（R2～R5） ・シニア向け就職面接会（R2～R5） ○高齢者・障がい者などの雇用支援事業に関するチラシを配布、掲示 ○内職相談を実施	今後の取り組み予定 ・国、県、ハローワーク等と連携した、就労支援・就労支援事業に関する広報、事業チラシの配布掲示等
(2)	正規雇用者労働者採用の促進及び就職後の支援事業 評価・方向性 ○ B1 ○国、県、行田地区雇用対策協議会など関係団体と連携した正規雇用労働者採用の促進及び就職後の支援事業を実施 ・市民プラザ内「ふるさとハローワーク」において求人情報の提供や職業相談等を実施。 ○行田地区雇用対策協議会・ハローワークとの共催により、行田地域若年者就職面接会を実施 ○就労奨励交付金事業を実施（R3：9事業者10名 R4：8事業者9名）	今後の取り組み予定 ・国、県、雇用対策協議会との共催による就職面接会の実施 ・社会参加意欲のある高齢者のため、就業等の活動機会の確保・提供
(3)	起業家支援事業 評価・方向性 ◎ A1 ○創業支援ワンストップ相談窓口を設置・運営し、市内で創業する方の支援を実施 ○創業支援セミナーの開催を支援し、市内で創業する方の支援を実施 ○女性向け創業セミナーを開催 ○シニアのための起業はじめ方セミナーを開催 ○創業支援事業補助金事業を実施 R2：4件 2,772千円 R3：3件 2,138千円 R4：5件 4,145千円 R5：3件 2,365千円 ○商店街空き店舗対策モデル事業補助金事業を実施 実績 R2：3件 R3：2件 R4：3件 R5：3件	今後の取り組み予定 ・創業支援事業計画に基づく、創業支援ワンストップ相談窓口において創業支援 ・各種創業支援セミナー及び交流会の開催 ・創業支援事業補助金交付制度のPR・利用推進 ・商店街空き店舗対策モデル事業補助金制度のPR・利用推進
(4)	NEXT商店街プロジェクトによる空き店舗活用事業 評価・方向性 ◎ A2 ○松原通り商店会内に空き店舗を再生及び活用した活動拠点施設（MD Library）をオープン（R4.3） OMALL DESIGN実行委員会と連携し空き店舗調査や各種イベントを実施	今後の取り組み予定 ・県事業であるNEXT商店街プロジェクトは終了し、一定の効果を発揮することができた。

【評 価】令和5年度末までの取組状況に対する評価 ◎順調 ○概ね順調 ▲進捗が遅れている
【方向性】次期総合戦略に向けた取り組みの方向性 A1～A3、B1～B3（詳細は別紙）

1 政策名および施策名		2 施策の担当課及び関係課	
基本目標	1 しごとをつくり、安心して働けるようにする	担当課	商工課
基本施策	3 働きやすい環境づくりを支援する	関係課	

3 基本施策の方向性
市内で働きたいと思う方の雇用を守り、多様な就業環境づくりを創出します。また、創業支援、空き店舗の活用により、市内で起業する方の支援を行います。

4 事業のKPI								上段：進捗状況（達成見込み）
指標名（単位）	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6（見込み）	下段：次期戦略に向けた方向性
1－3 1枚目 にまとめて記載								
	実績値							

【（上段）進捗状況】◎：R6年度に目標値を100%以上達成見込み ○：R6年度に目標値を75%以上達成見込み
▲：R6年度に目標値を75%未満の達成見込み －：評価不能
【（下段）次期戦略に向けた方向性】①上方修正により目標継続、②達成により他目標を検討、③達成により目標終了、
④下方修正又は数値維持により目標を継続、⑤情勢変化により他目標を検討、⑥情勢変化により目標終了

5	これまでの取り組みと評価（令和2～5年度）	今後の取り組み予定(令和6年度)
(5)	商工団体と連携した労働者向けセミナー開催 評価・方向性 ○ B1 ○埼玉県労働セミナー（R2～R5開催） 埼玉県と共催し、対面やオンライン配信で労働者向けのセミナーを開催	今後の取り組み予定 ・国、県、商工会等と連携した、労働者に有益なセミナーを実施 ・市内労働者に対して、労働者向けセミナーの周知、案内
(6)	市内企業の成長を促す経済的・技術的支援 評価・方向性 ◎ A1 ○融資あっせん・利子補給事業の実施 ・市内企業の事業振興を図るため、セーフティネット・危機関連保証認定を実施 ・市小口融資 R5年度末融資残高：6,884千円 ・利子補給事業を実施（R5 県短期14件、県長期44件 1,076千円） ○市内企業の振興を図るため、住宅改修補助金事業を実施	今後の取り組み予定 ・市内企業の事業振興を図るため、普通貸付、特別小口融資のあっせん及び発動された際のセーフティネット・危機関連保証の認定 ・市内企業の振興を図るため、住宅改修補助の活用、利子補給事業の実施
(7)	市内企業に各種制度周知、支援 評価・方向性 ◎ A1 ○市内企業の事業継続のための支援 ・信用保証料補助を実施（R2～R3） ・事業継続・家賃支援補助（R2） ・活力支援、経営支援補助（R3） ・商工会が行うプレミアム付き商品券への補助等実施 ・新規事業チャレンジ事業補助金事業の実施（R4～R5） ・国県補助金、交付金制度のPRを市HPにて周知	今後の取り組み予定 ・補助制度のPR・利用推進、利用しやすい補助制度への改正の検討 ・商工会と連携し、市制施行70周年プレミアム付商品券事業を実施 ・新規事業チャレンジ事業補助金制度の実施及び周知
(8)	評価・方向性	今後の取り組み予定
(9)	評価・方向性	今後の取り組み予定
(10)	評価・方向性	今後の取り組み予定

【評 価】令和5年度末までの取組状況に対する評価 ◎順調 ○概ね順調 ▲進捗が遅れている
【方向性】次期総合戦略に向けた取り組みの方向性 A1～A3、B1～B3（詳細は別紙）

1 政策名および施策名	
基本目標	2 結婚・出産・子育ての希望をかなえ、特色ある教育を提供する
基本施策	1 結婚を応援する

2 施策の担当課及び関係課	
主担当課	社会福祉課
関係課	

3 基本施策の方向性
結婚を希望する若者が、安心して結婚できるよう、環境づくりに努めます。

4 事業のKPI								上段：進捗状況（達成見込み）
指標名（単位）	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6（見込み）	下段：次期戦略に向けた方向性
結婚相談事業による結婚成立数（件/年）	目標値		➡	➡	➡	➡	3	▲
	実績値	2	3	4	2	1	3	④下方修正又は数値維持により目標を継続
カップリングパーティーカップル成立数（組/年）	目標値		➡	➡	➡	➡	18	▲
	実績値	17	5	5	12	9	12	④下方修正又は数値維持により目標を継続
	目標値							
	実績値							
	目標値							
	実績値							
	目標値							
	実績値							

【（上段）進捗状況】◎：R6年度に目標値を100%以上達成見込み ○：R6年度に目標値を75%以上達成見込み
 ▲：R6年度に目標値を75%未満の達成見込み ー：評価不能
 【（下段）次期戦略に向けた方向性】①上方修正により目標継続、②達成により他目標を検討、③達成により目標終了、
 ④下方修正又は数値維持により目標を継続、⑤情勢変化により他目標を検討、⑥情勢変化により目標終了

5 これまでの取り組みと評価（令和2～5年度）				今後の取り組み予定（令和6年度）
(1) カップリングパーティーの開催	評価・方向性	○	B1	今後の取り組み予定
○結婚相談員の活動を支援するとともに、結婚相談会及びカップリングパーティーを開催し、結婚を希望する方々に出会いの場を提供 ・カップリングパーティー3回開催 （R5参加者：男性29名、女性27名、カップル成立9組）				・市内公共施設や企業へパーティー開催案内のポスター、チラシを配布し事業をPR ・パーティー参加者へ、結婚相談所への登録を呼びかける。 ・他市との合同パーティー開催予定
(2) 結婚相談会事業	評価・方向性	○	B1	今後の取り組み予定
○結婚相談会を毎月第1日曜日（於：市民プラザ）及び毎月第3日曜日（於：社会福祉協議会相談室）に実施（24回実施）。相談件数100件				・引き続き結婚相談会を定期的に実施し、結婚を希望する方のマッチングや助言指導などを行う。
(3)	評価・方向性			今後の取り組み予定
(4)	評価・方向性			今後の取り組み予定
(5)	評価・方向性			今後の取り組み予定
(6)	評価・方向性			今後の取り組み予定

【評価】令和5年度末までの取組状況に対する評価 ◎順調 ○概ね順調 ▲進捗が遅れている
 【方向性】次期総合戦略に向けた取り組みの方向性 A1～A3、B1～B3（詳細は別紙）

1 政策名および施策名		2 施策の主担当課及び関係課	
基本目標	2 結婚・出産・子育ての希望をかなえ、特色ある教育を提供する	主担当課	こども家庭課
基本施策	2 妊娠・出産・子育てを支援する	関係課	児童保育課、健康づくり推進課

3 基本施策の方向性
安心して妊娠・出産・子育てができるよう相談事業、助成事業その他の支援に努めます。

4 事業のKPI								上段：進捗状況（達成見込み）
指標名（単位）	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6（見込み）	下段：次期戦略に向けた方向性
子育て世代包括支援センターの認知度（妊娠期～3歳児を持つ家庭の認知度）（％）	目標値		➡	➡	➡	➡	60	◎
	実績値	—	66.0	61.6	70.2	63	60	⑤情勢変化により他目標を検討
インフルエンザ予防接種率（生後6か月以上中学生以下）（％）	目標値		➡	➡	➡	➡	60	▲
	実績値	53	53	45	44	38	40	⑥情勢変化により目標終了
こどもひろば（子育て支援拠点）等利用者数（人/年）	目標値		➡	➡	➡	➡	30,000	▲
	実績値	17,130	10,457	7,952	12,303	14,737	20,000	④下方修正又は数値維持により目標を継続
	目標値							
	実績値							
	目標値							
	実績値							

【（上段）進捗状況】◎：R6年度に目標値を100％以上達成見込み ○：R6年度に目標値を75％以上達成見込み
 ▲：R6年度に目標値を75％未満の達成見込み —：評価不能
 【（下段）次期戦略に向けた方向性】①上方修正により目標継続、②達成により他目標を検討、③達成により目標終了、
 ④下方修正又は数値維持により目標を継続、⑤情勢変化により他目標を検討、⑥情勢変化により目標終了

5 これまでの取り組みと評価（令和2～5年度）				今後の取り組み予定（令和6年度）	
(1) 子育て世代包括支援センター事業	評価・方向性	◎	A2	今後の取り組み予定	
OH31年度開設。健康づくり推進課窓口にて、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を実施 R2相談件数：303件 R3相談件数：258件 R4年度：299件 R5年度：269件				・こども家庭センターを設置し、母子保健と児童福祉の連携、協働を深め、一体的な相談支援体制を整備する。	
(2) 不妊治療費助成事業	評価・方向性	◎	A1	今後の取り組み予定	
○保険診療として実施した一般不妊治療・生殖補助医療・男性不妊治療を対象に、その治療費を助成。自己負担額から付加給付金等を除いた金額の1/2（上限10万円） R4年度：延べ55人 R5年度：延べ53人				・国や県の動向をみて事業を充実、継続する	
(3) 病児・病後児保育の充実	評価・方向性	◎	A1	今後の取り組み予定	
○市内4か所の保育施設にて、病児・病後児保育（体調不良児型）を実施 ○病児保育室（病児対応型）の施設整備を支援（令和3～5年度）				・事業を継続する	
(4) 子育て支援インフルエンザ予防接種費用の助成	評価・方向性	▲	B1	今後の取り組み予定	
○生後6か月児から中学校3年生までの子のインフルエンザワクチン接種費用の助成をする。自己負担額1,000円 接種者数 R2年度：延5,859人 R3年度：延4,769人 R4年度：延4,605人 R5年度：延4,280人				・事業を継続する	
(5) こどもひろば（子育て支援拠点）等による相談事業	評価・方向性	▲	B1	今後の取り組み予定	
○子育てに関する悩みや不安の相談、子育て情報の提供などを市内に4か所ある地域子育て支援センター及び市民プラザ内の「こどもひろば」にて実施した。 R3年度 利用人数：7,952人 利用組数：3,621組 R4年度 利用人数：12,303人 利用組数：5,089組 R5年度 利用人数：14,737人 利用組数：6,551組				・事業を継続する	
(6) ファミリー・サポート・センター事業	評価・方向性	◎	A1	今後の取り組み予定	
○仕事と子育てが両立できるよう会員組織にて、子育てをサポートする事業を実施 R2年度 会員数：184人 活動実績：79件 R3年度 会員数：195人 活動実績：112件 R4年度 会員数：209人 活動実績：189件 R5年度 会員数：203人 活動実績：331件				・事業を継続する	

【評価】令和5年度末までの取組状況に対する評価 ◎順調 ○概ね順調 ▲進捗が遅れている
 【方向性】次期総合戦略に向けた取り組みの方向性 A1～A3、B1～B3（詳細は別紙）

1 政策名および施策名		2 施策の主担当課及び関係課	
基本目標	2 結婚・出産・子育ての希望をかなえ、特色ある教育を提供する	主担当課	こども家庭課
基本施策	2 妊娠・出産・子育てを支援する	関係課	児童保育課、健康づくり推進課

3 基本施策の方向性
安心して妊娠・出産・子育てができるよう相談事業、助成事業その他の支援に努めます。

4 事業のKPI ※R6実績値について ①（見込み）の記載あり：令和7年3月31日現在の予測値 ②記載なし：令和6年6月1日現在の実績値								上段：進捗状況（達成見込み）
指標名（単位）	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6（見込み）	下段：次期戦略に向けた方向性
2-2 1枚目 にまとめて記載								
	実績値							

【（上段）進捗状況】◎：R6年度に目標値を100%以上達成見込み ○：R6年度に目標値を75%以上達成見込み
▲：R6年度に目標値を75%未満の達成見込み ー：評価不能
【（下段）次期戦略に向けた方向性】①上方修正により目標継続、②達成により他目標を検討、③達成により目標終了、
④下方修正又は数値維持により目標を継続、⑤情勢変化により他目標を検討、⑥情勢変化により目標終了

5	これまでの取り組みと評価（令和2～5年度）	今後の取り組み予定(令和6年度)	
(7)	子育て支援ヘルパー事業	評価・方向性	○ A1
○妊産婦の家庭へ、家事等の援助を行うホームヘルパーを派遣し子育て支援を実施 R2年度 利用人数：4人 利用件数：53件 R3年度 利用人数：3人 利用件数：83件 R4年度 利用人数：5人 利用件数：86件 R5年度 利用人数：2人 利用件数：12件		・事業を継続 家事や育児に不安を抱える要保護児童がいる家庭(18歳まで)に対し、ホームヘルパーの派遣事業を開始	
(8)		評価・方向性	
		今後の取り組み予定	
(9)		評価・方向性	
		今後の取り組み予定	
(10)		評価・方向性	
		今後の取り組み予定	
(11)		評価・方向性	
		今後の取り組み予定	
(12)		評価・方向性	
		今後の取り組み予定	

【評 価】令和5年度末までの取組状況に対する評価 ◎順調 ○概ね順調 ▲進捗が遅れている
【方向性】次期総合戦略に向けた取り組みの方向性 A1～A3、B1～B3（詳細は別紙）

1 政策名および施策名		2 施策の担当課及び関係課	
基本目標	2 結婚・出産・子育ての希望をかなえ、特色ある教育を提供する	担当課	学校教育課
基本施策	3 特色ある教育を提供する	関係課	生涯学習課・スポーツ振興課

3 基本施策の方向性
教育を市の魅力を発信する重要な手段と考え、「知・徳・体・コミュニケーション能力」を地域とともに育みます。

4 事業のKPI ※R6実績値について ①（見込み）の記載あり：令和7年3月31日現在の予測値 ②記載なし：令和6年6月1日現在の実績値								上段：進捗状況（達成見込み）
指標名（単位）	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6（見込み）	下段：次期戦略に向けた方向性
全国学力状況調査（小6・中3全国差）	目標値		➡	➡	➡	➡	+2(小6) ±0(中3)	○
	実績値	-1.7(小6) -5.9(中3)		+1.1(小6) -3.4(中3)	-0.7(小6) -3.7(中3)	-1.8(小6) -2.6(中3)	-1.8(小6) -2.6(中3)	④下方修正又は数値維持により目標を継続
高校生インストラクター講座 講師満足度（％）	目標値		➡	➡	➡	➡	80	○
	実績値	55	—	—	70	44	70（見込み）	④下方修正又は数値維持により目標を継続
	目標値							
	実績値							
	目標値							
	実績値							
	目標値							
	実績値							

【（上段）進捗状況】◎：R6年度に目標値を100%以上達成見込み ○：R6年度に目標値を75%以上達成見込み
▲：R6年度に目標値を75%未満の達成見込み —：評価不能
【（下段）次期戦略に向けた方向性】①上方修正により目標継続、②達成により他目標を検討、③達成により目標終了、
④下方修正又は数値維持により目標を継続、⑤情勢変化により他目標を検討、⑥情勢変化により目標終了

5	これまでの取り組みと評価（令和2～5年度）	今後の取り組み予定（令和6年度）
(1)	小中一貫教育の推進 ○令和2・3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、夏季休業中に各中学校ブロックで参集する合同研修会は中止となった。令和4・5年度は、羽生市学力向上推進委員会において、中学校ブロックで学力向上に関する協議を行った。 ○各小・中学校が研究授業をする際に、中学校ブロックの学校に研究授業の案内文書を送付し、相互学習参観を実施した。	今後の取り組み予定 ・合同研修会を実施したり、研究授業の相互学習参観を継続したりして、小中一貫教育の推進を図る。 ・再編成に向けた小中一貫教育のためのカリキュラムを作成し、小学校から中学校へ切れ目のない授業となるよう小中の連携を図る。
(2)	ICTを活用した教育の推進 ○児童生徒1人1台の学習パソコンを整備し、各学校の授業等で活用を始めた。 ○Googleの指導者を招聘したり、GIGAスクールサポーターを配置したりし、各学校での学習パソコンの活用促進を図った。 ○令和2、3年度に、埼玉県教育委員会委嘱「情報活用能力育成推進事業」の研究発表を全県に向けて、須影小・南中において行った。	今後の取り組み予定 ・児童生徒の多様な学習活動を支援するため、ハネッセ等と連携したり、各学校の取り組みを共有する会議を実施したりして、学習パソコンの更なる有効な活用方法を市内で共有できるようにする。
(3)	英語教育の推進 ○令和2・3・4・5年度も引き続き全小・中学校へのALTの常駐を行った。 ○令和2年度まで実施していたGTEC（英語4技能評価テスト）は中止し、令和3年度からは中学3年生に向けた英語検定料金の補助を実施した。 ○岩瀬グローバルスクール事業、村君英語村推進事業を継続実施した。 ○令和3年度、岩瀬小学校において、文部科学省による教育課程特例校の委嘱を受け、英語教育の研究発表を行った。	今後の取り組み予定 ・全小・中学校へのALTの常駐を継続する。 ・中学3年生を対象に、英語検定料金の補助を継続し、英語教育の推進を図る。
(4)	「子ども大学はにゅう」の開校 子どもの知的好奇心を刺激する学びの機会を提供し、他の小学校や他学年との交流により、成長した子どもたちの姿を見ることができた。 ○令和2年度：中止、令和3年度：規模縮小し1日開催 14名参加、令和4年度：規模縮小し1日開催 14名参加、令和5年度：2日間開催 30名参加（内、中学生サポーター5名）	今後の取り組み予定 ・小学校のカリキュラムとの調整を行い、夏季休業中の開催を検討する。 ・更なる充実に向け、募集人数、実施日数、開催時期の見直しを図る。
(5)	高校生インストラクター講座の開催 高校生が講師として、地域の方々を対象とした講座を主体的に企画・立案することで、授業で学んだことが活かせることに達成感を得た様子だった。 ○令和2年度：中止、令和3年度：中止、令和4年度：3校（羽生第一高校、羽生実業高校、誠和福祉高校）、令和5年度：3校（羽生第一高校、羽生実業高校、誠和福祉高校）	今後の取り組み予定 ・各校との日程調整を行い、市内全5高校での講座を目指し、学びの循環を創出する。
(6)	トップアスリート育成事業 ○新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止（令和2年度から令和4年度） ○実施種目を含め指定管理者との連携について協議・検討 ○スポーツ少年団加盟種目を中心に4種目（バスケットボール・サッカー・剣道・卓球）を指定管理者と連携し実施（令和5年度）	今後の取り組み予定 ・指定管理者との継続した連携内容の検討 ・指定管理者への委託事業として継続して実施

【評価】令和5年度末までの取組状況に対する評価 ◎順調 ○概ね順調 ▲進捗が遅れている
【方向性】次期総合戦略に向けた取り組みの方向性 A1～A3、B1～B3（詳細は別紙）

1 政策名および施策名		2 施策の担当課及び関係課	
基本目標	3 時代に合った地域をつくる	担当課	健康づくり推進課
基本施策	1 一人ひとりが健康に暮らせるまちづくりを推進する	関係課	高齢介護課・国保年金課・スポーツ振興課

3 基本施策の方向性
市民一人ひとりが生涯にわたって健康な生活が送れるよう、様々な支援に取り組んでいきます。

4 事業のKPI ※R6実績について ①（見込み）の記載あり：令和7年3月31日現在の予測値 ②記載なし：令和6年6月1日現在の実績値								上段：進捗状況（達成見込み）
指標名（単位）	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6（見込み）	下段：次期戦略に向けた方向性
週1回以上スポーツをする18歳以上の市民の割合（％）	目標値		➡	➡	➡	➡	50.0	○
	実績値	44.3	46.3	41.0	50.4	39.6	45.5（見込み）	④下方修正又は数値維持により目標を継続
健康づくり事業へ参加する市民の割合（10/1時点人口比）（％）	目標値		➡	➡	➡	➡	30.0	▲
	実績値	25.0	0.0	6.3	11.0	14.7	14.9（見込み）	④下方修正又は数値維持により目標を継続
いきいき百歳体操参加者数（人/年）	目標値		➡	➡	➡	➡	1,500	○
	実績値	1,015	1,498	1,307	1,244	1,283	1,500	⑤情勢変化により他目標を検討
	目標値							
	実績値							
	目標値							
	実績値							

【（上段）進捗状況】◎：R6年度に目標値を100%以上達成見込み ○：R6年度に目標値を75%以上達成見込み
▲：R6年度に目標値を75%未満の達成見込み —：評価不能
【（下段）次期戦略に向けた方向性】①上方修正により目標継続、②達成により他目標を検討、③達成により目標終了、
④下方修正又は数値維持により目標を継続、⑤情勢変化により他目標を検討、⑥情勢変化により目標終了

5	これまでの取り組みと評価（令和2～5年度）	今後の取り組み予定（令和6年度）
(1)	産学官連携による健康イベント等の開催 評価・方向性 ○ B3	今後の取り組み予定
	○各種企業、大学等による協定締結などは推進している中で、R5はイオンモール羽生と連携し、健康ウォーキング講座を実施した。参加者：71人 ○イオンモール羽生にて健康パネル展を開催した。	・企業等の経験能力を活かせる事業の検討、実施
(2)	健康講座の開催 評価・方向性 ○ A1	今後の取り組み予定
	○生活習慣病予防講座 R4年度 高血圧予防講座 1回 18人 R5年度 カラダ整うコンディショニング講座 2回 19人、健康ウォーキング講座 1回 71人、糖尿病予防講座 1回 11人	・オンライン等による講座開催などの普及を試行
(3)	介護予防事業 評価・方向性 ○ A1	今後の取り組み予定
	○高齢者の健康づくりとともに、生きがい支援、地域の見守り活動とつながりのある介護予防事業「いきいき百歳体操」の普及、定着支援の継続 R2年度：8地区38会場、登録者数（R3、4月現在）1,134人、サポーター数364人 R3年度：8地区38会場、参加者及びサポーター数1,307人 R4年度：8地区38会場、参加者及びサポーター数1,244人（コロナ禍で減少） R5年度：8地区42会場、参加者及びサポーター数1,283人	・いきいき百歳体操の普及、定着支援の継続
(4)	各種健康診断の推進 評価・方向性 ▲ B1	今後の取り組み予定
	○特定健診の実施（受診率） R2：37.0% R3：34.4% R4：34.4% R5：32.8% ○特定保健指導の実施（利用率） R2：20.1% R3：12.8% R4：5.8% R5：4.8% ○健康診査の実施（受診率） R2：38.1% R3：38.7% R4：39.6% R5：39.8%	・特定健診の実施 ・特定保健指導の実施 ・健康診査の実施
(5)	健康づくり、体力づくりのための環境整備 評価・方向性 ○ B1	今後の取り組み予定
	○「はにゅう筋力UP！体操」を考案し、市HP等で紹介（令和2年度） ○「ムジナもん体操」の動画の更新（令和2年度） ○「ムジナもん体操スローバージョン」を作成し、市HP等で紹介（令和4年度） ○スポーツスクールの開催（令和4年度）12教室・115名 ○スポーツスクールの開催（令和5年度）13教室・141名	継続して実施 ・生涯学習出前講座やニュースポーツ出前教室を活用した普及の推進
(6)	ニュースポーツ出前教室 評価・方向性 ○ B1	今後の取り組み予定
	○新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止（令和2年度） ○市内9地区で参加人数を制限して実施（令和3年度）参加者合計：141名 ○市内9地区を4ブロックに分けて実施（令和4年度）参加者合計：101名 ○市内9地区を6ブロックに分けて実施（令和5年度）参加者合計：114名	・スポーツ推進委員が主体となり実施方法や実施種目を検討し、継続して実施

【評価】令和5年度末までの取組状況に対する評価 ◎順調 ○概ね順調 ▲進捗が遅れている
【方向性】次期総合戦略に向けた取り組みの方向性 A1～A3、B1～B3（詳細は別紙）

1 政策名および施策名	
基本目標	3 時代に合った地域をつくる
基本施策	1 一人ひとりが健康に暮らせるまちづくりを推進する

2 施策の主担当課及び関係課	
主担当課	健康づくり推進課
関係課	高齢介護課・国保年金課・スポーツ振興課

3 基本施策の方向性
市民一人ひとりが生涯にわたって健康な生活が送れるよう、様々な支援に取り組んでいきます。

4 事業のKPI ※R6実績値について ①（見込み）の記載あり：令和7年3月31日現在の予測値 ②記載なし：令和6年6月1日現在の実績値								上段：進捗状況（達成見込み）
指標名（単位）	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6（見込み）	下段：次期戦略に向けた方向性
3-1 1枚目 にまとめて記載								
	実績値							

【（上段）進捗状況】◎：R6年度に目標値を100%以上達成見込み ○：R6年度に目標値を75%以上達成見込み
▲：R6年度に目標値を75%未満の達成見込み ー：評価不能
【（下段）次期戦略に向けた方向性】①上方修正により目標継続、②達成により他目標を検討、③達成により目標終了、
④下方修正又は数値維持により目標を継続、⑤情勢変化により他目標を検討、⑥情勢変化により目標終了

5	これまでの取り組みと評価（令和2～5年度）	今後の取り組み予定（令和6年度）
(7)	チャレンジ the スポーツ事業 評価・方向性 ○ B1 ○新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止（令和2年度・令和3年度） ○スポフェスinはにゅう（指定管理者自主事業）と併せて実施（令和4年度） 参加者合計：37名 ○エンジョイDAY（指定管理者自主事業）と併せて実施（令和5年度） 参加者合計：61名	今後の取り組み予定 ・指定管理者と連携し、継続して実施
(8)	スポーツレクリエーション事業 評価・方向性 ○ B1 ○新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止（令和2年度） ○市フロアカーリング大会を規模を縮小して実施（令和3年度）38チーム・130名 ○市フロアカーリング大会を規模を縮小して実施（令和4年度）55チーム・179名 ○マラソン大会の実施（令和4年度）エントリー数1,224名 当日参加者1,068名 ○全国フロアカーリングを再開（令和5年度）99チーム・368名 ○市フロアカーリング大会を実施（令和5年度）60チーム・210名 ○はにゅうスポ・レクフェスタを開催（令和5年度）参加者：約700名 ○マラソン大会の実施（令和5年度）エントリー数1,319名 当日参加者1,163名	今後の取り組み予定 継続して実施 ・マラソン大会の開催方法の検討
(9)	評価・方向性	今後の取り組み予定
(10)	評価・方向性	今後の取り組み予定
(11)	評価・方向性	今後の取り組み予定
(12)	評価・方向性	今後の取り組み予定

【評 価】令和5年度末までの取組状況に対する評価 ◎順調 ○概ね順調 ▲進捗が遅れている
【方向性】次期総合戦略に向けた取り組みの方向性 A1～A3、B1～B3（詳細は別紙）

1 政策名および施策名		2 施策の担当課及び関係課	
基本目標	3 時代に合った地域をつくる	担当課	地域振興課
基本施策	2 安全で安心なまちづくりを支援する	関係課	秘書広報課・市民生活課・建設課

3 基本施策の方向性
市民の誰もが安心して住み続けられるまちづくりを推進します。

4 事業のKPI								上段：進捗状況（達成見込み）
指標名（単位）	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6（見込み）	下段：次期戦略に向けた方向性
防災訓練を実施した自主防災組織数（件／年）	目標値		➡	➡	➡	➡	74	○
	実績値	58	12	17	24	41	74	④下方修正又は数値維持により目標を継続
全刑法犯認知件数（件／年（1～12月））	目標値		➡	➡	➡	➡	412	▲
	実績値	453	430	436	381	490	640	④下方修正又は数値維持により目標を継続
	目標値							
	実績値							
	目標値							
	実績値							
	目標値							
	実績値							

【（上段）進捗状況】◎：R6年度に目標値を100%以上達成見込み ○：R6年度に目標値を75%以上達成見込み
▲：R6年度に目標値を75%未満の達成見込み ー：評価不能
【（下段）次期戦略に向けた方向性】①上方修正により目標継続、②達成により他目標を検討、③達成により目標終了、
④下方修正又は数値維持により目標を継続、⑤情勢変化により他目標を検討、⑥情勢変化により目標終了

5 これまでの取り組みと評価（令和2～5年度）				今後の取り組み予定（令和6年度）
(1) 自主防災組織への支援	評価・方向性	◎	A1	今後の取り組み予定
○自主防災組織資機材整備・活動支援事業として自主防災組織育成補助金を交付 ・実績：R1年度…資機材整備0件、活動支援58件 R2年度…資機材整備2件、活動支援12件 R3年度…活動支援17件 R4年度…活動支援30件 R5年度…活動支援44件 ・R2年度自主防災組織育成補助金の制度を一部改正 ・R3年度避難所運営マニュアルを修正 ・R5年度自主防災初動マニュアル作成				・自主防災組織育成補助金制度の運用（資機材整備、活動支援）
(2) 防災備蓄の推進	評価・方向性	◎	A1	今後の取り組み予定
○消費期限が定められている物資についてはローテーションによる購入 令和2年度新型コロナウイルス感染症対策に対応した消毒液、パーテーション等を購入				・必要に応じた防災備蓄品の購入
(3) 内水害対策の推進	評価・方向性	○	A1	今後の取り組み予定
○利根川治水対策として、国の堤防強化対策における地元調整等支援している。 ・Ⅰ期区間（五霞町～東北自動車道）令和5年度に概成・Ⅱ期区間（東北自動車道～深谷市）用地進捗率約52%、堤防強化対策進捗率約5%（令和6年3月末現在） ○県の中川河道改修事業における地元調整等支援している。 ・中川河道改修は、中手子林調節池から中川起点（約3.3km）は、令和5年度末に概成 ○排水ポンプの交換、調整池の土砂浚渫、南中学校の校庭貯留施設整備工事を実施				・羽生市浸水対策基本計画に基づき、効果的な内水害対策として排水ポンプの適切な維持管理、調整池の浚渫を実施（令和6年度） ・今後は、雨水貯留浸透対策事業やポンプ設備等の更新工事にも取り組む。
(4) 防犯啓発の推進	評価・方向性	◎	A1	今後の取り組み予定
○各季（春・夏・秋・年末）防犯運動で、街頭キャンペーン等を実施 ○地域安全・暴力排除総決起大会を開催（令和3、4年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止。防犯ポスター・地域安全功労者表彰式のみ開催）				・各季（春・夏・秋・年末）防犯運動で、街頭キャンペーン等を実施 ・地域安全・暴力排除総決起大会を開催
(5) 自主防犯活動への支援	評価・方向性	◎	A1	今後の取り組み予定
○地域安全推進連絡協議会へ交付金を交付 ○メール配信サービスを活用した犯罪情報の提供				・地域安全推進連絡協議会へ交付金を交付 ・メール配信サービスを活用した犯罪情報の提供
(6) 防犯施設の整備	評価・方向性	○	B1	今後の取り組み予定
○防犯灯未設置箇所への防犯灯整備 ・新設：H30年度…236基、R1年度…59基 R2年度…92基 R3年度…109基 R4年度…107基 R5年度…85基 ○駅近自由通路設置防犯カメラ15基の維持管理。警察署より捜査依頼があった場合に防犯カメラの録画画像の提供 ・提供件数：H30年度…8件、R1年度…15件、R2年度…8件、R3年度…17件 R4年度…17件 R5年度…9件 ○埼玉県警察本部にイオンモール羽生周辺への交番設置を要望				・未設置箇所への計画的なLED防犯灯整備 ・羽生駅舎に設置の防犯カメラ15台の維持管理 ・埼玉県警察本部にイオンモール羽生周辺への交番設置を要望

【評価】令和5年度末までの取組状況に対する評価 ◎順調 ○概ね順調 ▲進捗が遅れている
【方向性】次期総合戦略に向けた取り組みの方向性 A1～A3、B1～B3（詳細は別紙）

1 政策名および施策名	
基本目標	3 時代に合った地域をつくる
基本施策	2 安全で安心なまちづくりを支援する

2 施策の担当課及び関係課	
担当課	地域振興課
関係課	秘書広報課・市民生活課・建設課

3 基本施策の方向性
市民の誰もが安心して住み続けられるまちづくりを推進します。

4 事業のKPI	※R6実績値について ①（見込み）の記載あり：令和7年3月31日現在の予測値 ②記載なし：令和6年6月1日現在の実績値							上段：進捗状況（達成見込み）
指標名（単位）	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6（見込み）	下段：次期戦略に向けた方向性
3-2 1枚目 にまとめて記載								
	実績値							

【（上段）進捗状況】◎：R6年度に目標値を100%以上達成見込み ○：R6年度に目標値を75%以上達成見込み
▲：R6年度に目標値を75%未満の達成見込み —：評価不能
【（下段）次期戦略に向けた方向性】①上方修正により目標継続、②達成により他目標を検討、③達成により目標終了、
④下方修正又は数値維持により目標を継続、⑤情勢変化により他目標を検討、⑥情勢変化により目標終了

5	これまでの取り組みと評価（令和2～5年度）	今後の取り組み予定（令和6年度）	
(7)	外国人住民への支援	評価・方向性	○ A1
○日本語教室の開催 毎月第1・3日曜日 午前10時～12時 中央公民館 R2：19回開催（延べ57名受講） R3：20回開催（延べ36名受講） R4：17回開催（延べ57名受講） R5：22回開催（延べ115名受講）		日本語教室の開催 ・毎月第1・3日曜日 午前10時～12時 ・中央公民館	
(8)		評価・方向性	
		今後の取り組み予定	
(9)		評価・方向性	
		今後の取り組み予定	
(10)		評価・方向性	
		今後の取り組み予定	
(11)		評価・方向性	
		今後の取り組み予定	
(12)		評価・方向性	
		今後の取り組み予定	

【評価】令和5年度末までの取組状況に対する評価 ◎順調 ○概ね順調 ▲進捗が遅れている
【方向性】次期総合戦略に向けた取り組みの方向性 A1～A3、B1～B3（詳細は別紙）

1 政策名および施策名	
基本目標	3 時代に合った地域をつくる
基本施策	3 優れた住環境を提供する

2 施策の担当課及び関係課	
担当課	まちづくり政策課
関係課	地域振興課・企画課・財政課・高齢介護課・商工課・環境課・企業誘致推進課

3 基本施策の方向性
便利で快適な街並みの創出に努め、誰もが暮らしやすい、住み続けたいと感じる「市民満足度の高いまちづくり」を目指します。

4 事業のKPI ※R6実績値について ①（見込み）の記載あり：令和7年3月31日現在の予測値 ②記載なし：令和6年6月1日現在の実績値								上段：進捗状況（達成見込み）
指標名（単位）	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6（見込み）	下段：次期戦略に向けた方向性
岩瀬土地区画整理事業の進捗面積（ha、累計）	目標値		➡	➡	➡	➡	42.5	▲
	実績値	27.5	30.7	30.7	31.5	34.3	36.8	④下方修正又は数値維持により目標を継続
羽生駅発着数（本/日）	目標値		➡	➡	➡	➡	207	▲
	実績値	202	196	189	188	188	188（見込み）	⑤情勢変化により他目標を検討
商店街空き店舗対策モデル事業活用件数（件/年）	目標値		➡	➡	➡	➡	3	◎
	実績値	2	3	2	3	3	3	④下方修正又は数値維持により目標を継続
	目標値							
	実績値							
	目標値							
	実績値							

【（上段）進捗状況】◎：R6年度に目標値を100%以上達成見込み ○：R6年度に目標値を75%以上達成見込み
▲：R6年度に目標値を75%未満の達成見込み —：評価不能
【（下段）次期戦略に向けた方向性】①上方修正により目標継続、②達成により他目標を検討、③達成により目標終了、
④下方修正又は数値維持により目標を継続、⑤情勢変化により他目標を検討、⑥情勢変化により目標終了

5	これまでの取り組みと評価（令和2～5年度）	今後の取り組み予定（令和6年度）
(1)	岩瀬土地区画整理事業の促進 評価・方向性 ○ B1 ○北工区先行整備街区の企業進出（丸和油脂）に伴い、用途地区・地区計画を変更した。 ○北工区先行整備街区の丸和油脂工場北側敷地で、物流倉庫が建築可能となるよう地区計画を変更した。	今後の取り組み予定 ・北工区先行整備街区の道路築造工事及び物件移転補償を行う。
(2)	優良住宅地としての都市基盤整備の推進 評価・方向性 ○ B1 ○岩瀬土地区画整理事業南工区先行整備街区の優良住宅街区全84戸中73戸入居 ○新たな住宅街区の適地を調査 ○優良住宅街区南側の公園整備完了（建設課）	今後の取り組み予定 ・住宅生産振興財団と新たな住宅街区を検討する。
(3)	商業施設の誘致 評価・方向性 ○ B1 ○岩瀬土地区画整理事業南工区先行整備街区の商業施設街区において、すべての区画に店舗が建築された。	今後の取り組み予定 ・岩瀬土地区画整理組合と協力し、商業街区以外の空地への誘致を進める。
(4)	東武鉄道・秩父鉄道への発着列車増便等の要望等 評価・方向性 ○ B1 ○東武鉄道伊勢崎線輸送力増強推進協議会の会長市として、同鉄道輸送力改善に係る要望を行った。要望活動の方法として令和2・3年度は陳情書の郵送としたが、令和4年度からは対面により実施している。 ○埼玉県を通じ東武鉄道（株）及び秩父鉄道（株）へ、輸送力改善に係る要望を行った。	今後の取り組み予定 ・今後の鉄道利用の状況変化を注視し、要望内容を適宜見直していく。
(5)	地域公共交通サービスの充実 評価・方向性 ◎ A1 ○デマンド交通導入の検討及び方向性の決定 ・先進事例視察等を実施 ○地域公共交通会議を開催（令和4年度：2回 令和5年度：1回） ・令和4年10月からのりあいタクシーの実証運行を実施 ○令和5年度公共交通に関する市民アンケート調査を実施（1,500人対象）	今後の取り組み予定 ・本運行時の対象者拡大に向けた増車や賃料等の検討 ・公共交通会議の意見及び実証運行の状況等から羽生市としての公共交通の決定
(6)	買い物弱者支援 評価・方向性 ◎ A1 ○宅配電話帳（R5更新）の周知、PRを行った。 ○デマンド交通（のりあいタクシー）開始 ○社会福祉協議会が実施する移動販売車による食品販売事業が開始、その事業を支援した。	今後の取り組み予定 ・引き続き関係機関の協力を得て、宅配電話帳の周知を行う。 ・令和9年度に更新予定 ・社会福祉協議会が実施する移動販売車による食品販売事業を今後も支援する。

【評価】令和5年度末までの取組状況に対する評価 ◎順調 ○概ね順調 ▲進捗が遅れている
【方向性】次期総合戦略に向けた取り組みの方向性 A1～A3、B1～B3（詳細は別紙）

1 政策名および施策名				2 施策の担当課及び関係課			
基本目標	3 時代に合った地域をつくる			担当課	まちづくり政策課		
基本施策	3 優れた住環境を提供する			関係課	地域振興課・企画課・財政課・高齢介護課・商工課・環境課・企業誘致推進課		

3 基本施策の方向性
便利で快適な街並みの創出に努め、誰もが暮らしやすい、住み続けたいと感じる「市民満足度の高いまちづくり」を目指します。

4 事業のKPI ※R6実績値について ①（見込み）の記載あり：令和7年3月31日現在の予測値 ②記載なし：令和6年6月1日現在の実績値								上段：進捗状況（達成見込み）
指標名（単位）	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6（見込み）	下段：次期戦略に向けた方向性
3-3 1枚目 にまとめて記載								
	実績値							

【（上段）進捗状況】◎：R6年度に目標値を100%以上達成見込み ○：R6年度に目標値を75%以上達成見込み
▲：R6年度に目標値を75%未満の達成見込み ー：評価不能
【（下段）次期戦略に向けた方向性】①上方修正により目標継続、②達成により他目標を検討、③達成により目標終了、
④下方修正又は数値維持により目標を継続、⑤情勢変化により他目標を検討、⑥情勢変化により目標終了

5	これまでの取り組みと評価（令和2～5年度）			今後の取り組み予定（令和6年度）		
(7)	公共施設等マネジメントの推進	評価・方向性	○ B1	今後の取り組み予定		
○羽生市公共施設個別施設計画を令和3年度に策定及び令和5年度に一部改訂を行った。 ○羽生市公共施設等総合管理計画を令和5年度に一部改訂を行った。 ○リーディングプロジェクト推進により女性センター機能を市民プラザに令和5年4月に集約化した。さらに、公立保育所再編事業（第6.7再編新設）、学校適正規模・適正配置（井泉小、村君小、三田谷小）を推進した。				・公立保育所の再編を行う予定（第6.7統合新設R7開園予定等） ・小学校の適正配置を行う予定（井泉小、三田ヶ谷小、村君小R7再配置予定） ・再編を行った保育所や学校の跡地利用の検討		
(8)	羽生市空き家等対策計画による空き家の適正管理等の促進	評価・方向性	○ B1	今後の取り組み予定		
○環境課による第2次調査を実施した。空き家数955件 ○毎年5月に送付する固定資産税納税通知書（約23,700通）に、空き家・空き地の適正管理や空き家・空き地個別相談会についての案内文書と一緒に郵送 ○関係団体と連携し、空き家・空き地個別相談会を開催。6回の開催で40組の相談があり、管理・相続等空き家・空き地の今後について相談者に助言を行った。 ○空き家・空き地バンクの登録物件情報を市ホームページで公開した。新規10件				・啓発文書の送付及び空き家・空き地個別相談会の開催の継続 ・自治会長を対象とした「相続おしわけ講座」の開催 ・「空き家ガイドブック～わが家のエンディングノート～」を作成し、研修会等で配布する。		
(9)	中心市街地活性化の促進	評価・方向性	◎ A1	今後の取り組み予定		
○商店街賑わいづくり支援事業 ・MALL DESIGN実行委員会による、空き店舗調査や各種イベントの開催を実施 ・ムジナもんワイワイ祭りを松原通り商店会にて開催（R5年度：来場者数3,000人） ・引き続き、商店街空き店舗対策モデル事業費補助金事業を実施した。 ○市民プラザ管理運営 ・暖房用温水配管漏水修繕や空調機コンデンサーの修繕などを実施した。 ・R5：利用件数1,976件 利用者数36,190人				・引き続き、各商店街等との連携により商店街活性化のためのイベント等の開催を行い、個性と魅力に満ちた活気ある商店街づくりを支援する。 ・市民プラザについては、引き続き適正な管理運営を行うと同時に、今後の在り方について、サウンディング調査や先進事例の研究などを行っていく。		
(10)		評価・方向性		今後の取り組み予定		
(11)		評価・方向性		今後の取り組み予定		
(12)		評価・方向性		今後の取り組み予定		

【評価】令和5年度末までの取組状況に対する評価 ◎順調 ○概ね順調 ▲進捗が遅れている
【方向性】次期総合戦略に向けた取り組みの方向性 A1～A3、B1～B3（詳細は別紙）

1 政策名および施策名		2 施策の担当課及び関係課	
基本目標	4 地域資源を生かし、ブランド力を高める	担当課	観光プロモーション課
基本施策	1 地域資源を生かす	関係課	郷土資料館

3 基本施策の方向性
特産品、自然、文化財、キャラクターなどを地域資源として積極的に活用、発信し、戦略的にシティプロモーションを行うことで本市の知名度を向上させ、定住、観光、関係人口の創出に努めます。

4 事業のKPI								上段：進捗状況（達成見込み）
指標名（単位）	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6（見込み）	下段：次期戦略に向けた方向性
文化財講座等の実施（回/年）	目標値		➡	➡	➡	➡	12	▲
	実績値	6	2	3	5	5	6（見込み）	④下方修正又は数値維持により目標を継続
ロケーションの誘致回数（件/年）	目標値		➡	➡	➡	➡	30	▲
	実績値	13	19	24	13	15	2	④下方修正又は数値維持により目標を継続
ふるさと納税の返礼品の数（品）	目標値		➡	➡	➡	➡	200	◎
	実績値	100	230	300	340	350	370（見込み）	①上方修正により目標継続
	目標値							
	実績値							
	目標値							
	実績値							

【（上段）進捗状況】◎：R6年度に目標値を100%以上達成見込み ○：R6年度に目標値を75%以上達成見込み
▲：R6年度に目標値を75%未満の達成見込み —：評価不能
【（下段）次期戦略に向けた方向性】①上方修正により目標継続、②達成により他目標を検討、③達成により目標終了、
④下方修正又は数値維持により目標を継続、⑤情勢変化により他目標を検討、⑥情勢変化により目標終了

5	これまでの取り組みと評価（令和2～5年度）	今後の取り組み予定（令和6年度）
(1)	キャラクターの活用	今後の取り組み予定
	○企業等へのキャラクター使用やムジナもんファンクラブを活用して認知度向上や市のPRを図った。 ○キャラクターイベントについてはふるさと納税をからめてイベントを開催することにより地場産品や地域をPRすることができた。	・キャラクター認知度向上とともに、市民や市内法人の利用回数の向上を図る。 ・ムジナもんファンクラブの会員と協賛企業を増加を図る。 ・引き続き市外イベントへの出展やムジナもん応援団の協力等により着ぐるみを活用し、キャラクターの聖地として羽生市のPRを行う。
(2)	SNSや動画の活用	今後の取り組み予定
	OX（旧Twitter）やYoutubeを活用して積極的に情報発信を行った。 （X フォロワー数：5,549人、Youtube登録者数：2,367人） ○行政手続等や各種イベント案内を動画にて発信した。 ○オンラインでの生配信のイベントを開催した。	・引き続き、SNSや動画を活用し情報発信の充実を図る。 ・動画機材を有効に活用し、様々な分野で羽生をPRできるよう努める。
(3)	羽生市ロケーションサービスによるロケーション誘致	今後の取り組み予定
	○撮影に関する相談や調整に積極的に取り組んだ結果、以前撮影した制作者からのリピートが増え、件数増加につながっていったが、コロナ禍が落ち着き、都内での撮影が増えたことにより令和4年度は減少した。一方、翔んで埼玉2など大規模な作品を誘致することができた。 ○新たな撮影場所を追加する等、随時ホームページを更新し充実を努めている。	・ホームページの充実や刷新を図る。 ・ロケコーディネーターや製作会社との関係性を良好に保ち件数の増加を図る。 ・ロケ地やPRによる交流人口の増加を目指す。
(4)	文化財等の講座の開催	今後の取り組み予定
	○令和2年度は、「ムジナモの生態と掘上田」をテーマに羽生学講座を2回（10/3、10/24）実施した。 ○令和3年度は、羽生市ムジナモ発見100周年記念に伴い、記念講演会（7/18）を開催した。 ○令和4年度は、林宏一氏を講師に招き、「羽生市の仏像」をテーマにした羽生学講座公開講演会（第11回・12/3）を開催した。 ○令和5年度は、牧野富太郎とムジナモに関する講演会（7/22）を開催した。	・市内の歴史や文化について理解の深化を図るための講座を企画・実施する。
(5)	文化財等の保護・啓発	今後の取り組み予定
	○国指定天然記念物宝蔵寺沼ムジナモ自生地について、保護増殖事業、自生促進事業、陸地化した水路の掘削等を実施し、ムジナモの自生状況を改善を促進した。 ○県指定天然記念物勸兵衛マツについて、樹勢回復のための薬剤散布やコマ巻き等を実施した。 ○市指定史跡伝馬館跡について、整備業務として下草刈や竹伐採を実施した。 ○獅子舞見学会（上村君、下手子林、桑崎）は、新型コロナウイルス感染防止のため、中止した。	・文化財の保護が適切に行われるよう引き続き各種施策を講ずる。また、文化財保護精神の啓発に努める。
(6)	ムジナモの活用	今後の取り組み予定
	○令和2年度は、宝蔵寺沼ムジナモ自生地の一般公開を4回、自生地観察会（8/1）を実施した。 ○令和3年度は、羽生市ムジナモ発見100周年記念に伴い、自生地見学会（10/2）、パネル展（7月～3月）を実施した。また、ムジナモ自生地の一般公開を4回実施した。 ○令和4年度は、天然記念物の啓発及び身近な自然に触れる事業として、宝蔵寺沼ムジナモ自生地見学会を6回実施した。 ○令和5年度は、自生地見学会（7回）、パネル展（5月～3月）を実施した。	・ムジナモの自生状態を安定化させ、県のレッドデータの「野生絶滅」から「絶滅危惧種」へのランクダウンを目指す。

【評価】令和5年度末までの取組状況に対する評価 ◎順調 ○概ね順調 ▲進捗が遅れている
【方向性】次期総合戦略に向けた取り組みの方向性 A1～A3、B1～B3（詳細は別紙）

1 政策名および施策名	
基本目標	4 地域資源を生かし、ブランド力を高める
基本施策	1 地域資源を生かす

2 施策の担当課及び関係課	
担当課	観光プロモーション課
関係課	郷土資料館

3 基本施策の方向性
特産品、自然、文化財、キャラクターなどを地域資源として積極的に活用、発信し、戦略的にシティプロモーションを行うことで本市の知名度を向上させ、定住、観光、関係人口の創出に努めます。

4 事業のKPI								上段：進捗状況（達成見込み）
指標名（単位）	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6（見込み）	下段：次期戦略に向けた方向性
4-1 1枚目 にまとめて記載								
	実績値							

【（上段）進捗状況】◎：R6年度に目標値を100%以上達成見込み ○：R6年度に目標値を75%以上達成見込み
▲：R6年度に目標値を75%未満の達成見込み ー：評価不能
【（下段）次期戦略に向けた方向性】①上方修正により目標継続、②達成により他目標を検討、③達成により目標終了、
④下方修正又は数値維持により目標を継続、⑤情勢変化により他目標を検討、⑥情勢変化により目標終了

5	これまでの取り組みと評価（令和2～5年度）	今後の取り組み予定（令和6年度）
(7)	ふるさと納税返礼品の拡大 ◎ A1 ○市内事業者を訪問し、羽生市内で作られている商品を開拓している。 ○サイトの見栄えや情報を充実させ、寄附者に詳しい情報を伝えるよう努めている。 品数（事業者数）350品（85者）	今後の取り組み予定 ・先進事例を参考にして広告宣伝にも力を入れ、寄附額向上を目指す。
(8)	評価・方向性	今後の取り組み予定
(9)	評価・方向性	今後の取り組み予定
(10)	評価・方向性	今後の取り組み予定
(11)	評価・方向性	今後の取り組み予定
(12)	評価・方向性	今後の取り組み予定

【評価】令和5年度末までの取組状況に対する評価 ◎順調 ○概ね順調 ▲進捗が遅れている
【方向性】次期総合戦略に向けた取り組みの方向性 A1～A3、B1～B3（詳細は別紙）

1 政策名および施策名		2 施策の担当課及び関係課	
基本目標	4 地域資源を生かし、ブランド力を高める	担当課	観光プロモーション課
基本施策	2 観光を振興する	関係課	商工課・農政課

3 基本施策の方向性
羽生市観光基本計画に基づき、市民や事業者、行政の協働のもとに計画を推進することで観光交流人口を増やし、もって羽生市のにぎわいの創出を目指します。

4 事業のKPI								上段：進捗状況（達成見込み）
指標名（単位）	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6（見込み）	下段：次期戦略に向けた方向性
世界キャラクターさみっとin羽生の来場者数（人／年）	目標値		➡	➡	➡	➡	30万	▲
	実績値	11.5万	—	—	5.2万人	5.6万人	5万人（見込み）	④下方修正又は数値維持により目標を継続
観光農園新規参入事業者数（者、累計）	目標値		➡	➡	➡	➡	5	◎
	実績値	1	4	4	4	5	5	④下方修正又は数値維持により目標を継続
	目標値							
	実績値							
	目標値							
	実績値							
	目標値							
	実績値							

【（上段）進捗状況】◎：R6年度に目標値を100%以上達成見込み ○：R6年度に目標値を75%以上達成見込み
▲：R6年度に目標値を75%未満の達成見込み —：評価不能
【（下段）次期戦略に向けた方向性】①上方修正により目標継続、②達成により他目標を検討、③達成により目標終了、
④下方修正又は数値維持により目標を継続、⑤情勢変化により他目標を検討、⑥情勢変化により目標終了

5	これまでの取り組みと評価（令和2～5年度）	今後の取り組み予定（令和6年度）
S	世界キャラクターさみっとin羽生開催事業	今後の取り組み予定
	○令和2、3年度事業については新型コロナウイルスの影響によりリアルなイベントではなく、開催を予定していた日程に合わせ配信イベントを実施し、市のPR（ふるさと納税、地域文化活動、飲食店応援）を行った。配信にあたっては多くのキャラクターや自治体、関係団体にも参加いただいた。 ○令和4年度は会場をイオンモールとし、リアルイベント、生配信を同時に開催した。 ○キャラクターのPR以外にも市内グルメ、物産店の出店、ふるさと納税のPR企画などを実施した。（参加キャラクター155キャラ、参加団体121団体）	・引き続き国内外のご当地キャラクター団体と連携し、地方創生イベントとして世界最大のキャラクターイベントを実施する。 ・新たに市民ボランティアの呼びかけや会場の見直しを行う。 ・全国各地の団体と連携しまちおこしイベントとして盛り上げる知恵を出し合いながらご当地キャラクターだけでなく、文化や伝統、地場産業、ふるさと納税のPRなど情報発信の場として一層の充実を図る。
(2)	利根川等地域資源活用事業	今後の取り組み予定
	○利根川の魅力を育む会と連携を図り利根川活用のイベントを開催する。 ○利根川での漁業券をふるさと納税返礼品に加えた。 ○令和4年度に利根川観光活用ワークショップを開催し、利根川の観光活用について具体的なイベントを展開した。（利根川歴史散策や河川敷でのBBQ、石ころアートなど）	・行田市、加須市とも連携を図り広域的に利根川でのアクティビティを開発していく。
(3)	観光農園事業	今後の取り組み予定
	○観光農園等基本構想計画地への企業参入に向け、農地改良（畑地化）を実施した。 ○キャッセ羽生でブルーベリーや各種野菜の収穫体験を実施した。 ○キャッセ羽生と近隣観光施設等関係機関と連携したイベントや広告等を行った。 ○近隣観光施設との連携事業として、羽生水郷公園内にハーブ園を整備した。 ○集客力強化のため、参入事業者の6次化（キャガー整備）を支援（R2：2件、R3：1件）	・観光農園等基本構想計画地への参入企業の選定及び企業との連携強化 ・羽生水郷公園内のハーブ園の整備継続 ・観光交流人口増加に向け、近隣観光施設とのネットワークを強化し、相乗効果を図る。
(4)	藍染振興事業	今後の取り組み予定
	○市民プラザでふれ藍ショップを運営 ○市民プラザで、一般利用者及び市内小学生に藍染体験を実施 ○市内栽培の夢藍を活用した「叩き染め体験」をワークヒルズ羽生で実施（R2～R5） ○ハンバーガー世界大会にTシャツや、エプロンを作成し藍染のPR ○市内各社にストールを作成してもらい、ふれ藍ショップにて販売	・藍染体験の利用促進、イベントへの参加、PR強化 ・地場産業である藍染製品のPR、販売促進を行う。
(5)	観光拠点施設等の有効活用	今後の取り組み予定
	○キャッセ羽生において観光農園事業として収穫体験の充実を図り、県・市・公園緑地協会・近隣観光施設等関係機関と連携したイベントや広告等を行った。 ○チャレンジファーム参入業者と連携したイベント等の実施 ○三田ヶ谷農林公園に指定管理者制度を導入し、指定管理者による管理運営を開始 ○指定管理者による道の駅はにゅうの適正な管理運営	・チャルツァファーム参入業者と連携したイベント等の充実 ・三田ヶ谷農林公園指定管理者による集客力アップと適正な管理運営 ・道の駅はにゅう次期指定管理者選定に向けて、適正な手続きを行う。
(6)	地場産業「藍染」等のPR	今後の取り組み予定
	○埼玉WABISABI大祭典に出展し、藍染体験、PRを実施（R3：2日間） ○「青綿の市」（R3、R4、R5）に出展し、藍染体験を実施 ○羽生駅自由通路ショーケースに羽生市産地産産業振興協議会による地場産品展示 ○道の駅はにゅうを活用した藍染パネル展示	・藍染フェスティバルの開催 ・羽生駅自由通路における藍染展示 ・藍染PRのためのイベント出展 ・道の駅はにゅうを活用した藍染PR

【評価】令和5年度末までの取組状況に対する評価 ◎順調 ○概ね順調 ▲進捗が遅れている
【方向性】次期総合戦略に向けた取り組みの方向性 A1～A3、B1～B3（詳細は別紙）

1 政策名および施策名		2 施策の担当課及び関係課	
基本目標	4 地域資源を生かし、ブランド力を高める	担当課	企画課
基本施策	3 転入を促進する	関係課	

3 基本施策の方向性
羽生市に居住することで得られる市民サービスを積極的に発信し、羽生市に移住、定住する人の流れを促進します。

4 事業のKPI								上段：進捗状況（達成見込み）
指標名（単位）	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6（見込み）	下段：次期戦略に向けた方向性
人口の社会増加数（人、累計） ※R1実績値はH28～H30の平均値	目標値		➡	➡	➡	➡	750	◎
	実績値	138	△14	188	642	1,003	1,096	③達成により目標終了
住みよさランキング（東洋経済新報社発表、県内40市中順位）	目標値		➡	➡	➡	➡	10位	◎
	実績値	21位	19位	17位	17位	5位	5位	③達成により目標終了
	目標値							
	実績値							
	目標値							
	実績値							
	目標値							
	実績値							

【（上段）進捗状況】◎：R6年度に目標値を100%以上達成見込み ○：R6年度に目標値を75%以上達成見込み
▲：R6年度に目標値を75%未満の達成見込み －：評価不能
【（下段）次期戦略に向けた方向性】①上方修正により目標継続、②達成により他目標を検討、③達成により目標終了、
④下方修正又は数値維持により目標を継続、⑤情勢変化により他目標を検討、⑥情勢変化により目標終了

5 これまでの取り組みと評価（令和2～5年度）				今後の取り組み予定(令和6年度)	
(1)	埼玉県や北埼玉地域「彩の国づくり」連絡協議会との移住連携事業の実施	評価・方向性	○ B1	今後の取り組み予定	
○県主催のイベントに参加し、移住PRを行った。 ○羽生市に移住した方のインタビュー記事などを掲載した移住に係るPR冊子を作成し、都内に設置されている「住むなら埼玉」移住サポートセンター等で配架してもらい、PRを行った。				・県と連携し、本市の実情と合致する移住相談イベント等に積極的に参加し、PRを行う。	
(2)	移住相談の受付	評価・方向性	▲ B1	今後の取り組み予定	
○転入希望者からの相談を受け付け、要望に応じた情報提供等を行った。 （実績）令和2年度 2件 令和4年度 2件 令和3年度 4件 令和5年度 4件				・転入希望者の相談受付は継続し、市のPRに努める。	
(3)	移住・定住のPR	評価・方向性	○ A1	今後の取り組み予定	
○市ホームページに移住専用ページを新設した。 ○羽生市に移住した方のインタビュー記事などを掲載した移住ガイドブックを作成し、市内外の施設に配架するなどし、PRを行った。 ○移住に係る市公式Instagramを開設した。 ○全国二地域居住等促進協議会に加入した（令和3年2月設立）。 ○移住マッチングプラットフォーム「たびすむ」に登録した。				・市ホームページの移住専用ページを拡充する。 ・移住ガイドブックを活用し、移住関連イベントや「ふるさと回帰支援センター（移住相談窓口）」等で配布する。 ・市公式Instagramの投稿方法等を見直し、フォロー数の向上を図る。	
(4)		評価・方向性		今後の取り組み予定	
(5)		評価・方向性		今後の取り組み予定	
(6)		評価・方向性		今後の取り組み予定	

【評 価】令和5年度末までの取組状況に対する評価 ◎順調 ○概ね順調 ▲進捗が遅れている
【方向性】次期総合戦略に向けた取り組みの方向性 A1～A3、B1～B3（詳細は別紙）